

中国の南部と北部の集合住宅における「庁」(LDK) 空間の特徴に関する研究

- 機能の違いによる特徴の比較 -

日大生産工 (院)

○金 震宇*

日大生産工

渡辺 康**

1. はじめに

中国には「食は人の最も重要なものである。」という古い諺がある。中国の厨房 (K) と食堂 (D) は、古くから住宅の中で重要な役割を果たしてきました。中国の集合住宅におけるこれら2つの空間が形成する複合空間「庁」については、日本の論文も詳細な研究を行っている。友清は「庁型住宅の発展過程と庁の役割」で戦後の中国における庁の出現、発展過程、および役割をまとめ¹⁾、上北は「中国の集合住宅における食事空間の考察」で食事空間としての庁の役割と発展についてまとめ²⁾ている。その研究のほとんどは中国の北京周辺に集中しており、研究結果は中国北部のみに当てはまる。しかし中国は広く、地域に差がある。文化、気候、食生活などのさまざまな理由から、中国南部の集合住宅のDとKは異なる特徴を持ったものになっている。

本研究では、中国の南北集合住宅のDとKの特徴の差に焦点を当て、その理由を考察する。

2. 調査方法

本研究では、中国の都市の中から、北部と南部の比較をするために広州と北京の2つの都市 (図1) を代表に選び、広州と北京の集合住宅作品を中国の建築雑誌 (「建築学報」, 「建築士」)、インターネット上の論文検索サイト知网から平面とデータをばっすいして、DとK空間の特徴を調査した。調査範囲と調査対象は、広州と北京で過去20年間に竣工した集合住宅プロジェクトである。



図1 中国の都市位置

3. DとKについて

本研究ではDの面積、比例、様式を調査して、Kの面積、仕切り、比例、様式を調査して、そして特徴と区別を明らかにする。

4. 調査結果

4.1 Kの仕切り

今回の調査によると、広州の集合住宅の半数のキッチンには仕切りがなく、北京の集合住宅のキッチンはすべて仕切りがある。

これには下記の3つの理由が考えられる。

①広州のユニット面積は比較的小さいため、内部空間を使いやすくするにオープンキッチンが必要であること。

②広州は香港からの屋台文化を持っているため、広州は路上の屋台で食事をする頻度が非常に高く、家庭で料理をする頻度は比較的低いこと。

③広州の郷土料理は蒸し料理、煮物、スープ料理が中心で、全体的に軽食である。調理中に発生する油煙は比較的少なく、油煙を隔離するためにキッチンを完全に密閉する必要がないこと。

4.2 Kの平均面積

今回の調査によると、広州の平均K面積は4.5㎡、北京の平均K面積は9.3㎡と、北京

Research On The Special Features Of LDK Of Collective Residential Buildings In Southern And Northern China

- Comparison of features and functions -

JIN ZHENYU and WATANABE YASUSHI

のキッチン面積は広州の2倍近くとなっている。

その理由は下記のように考えられる。

①北京のユニット面積が広く、それに応じてキッチンの面積も増加する。同時に、北京のキッチンは密閉されたキッチンであり、複雑な調理には広いエリアの方が便利であること。

②北京には友人を自宅の夕食に招く伝統があり、友人たちは通常キッチンに入り、家の主人とおしゃべりする。したがって、キッチンエリアが広いと、友達がキッチンでおしゃべりしたり、手伝いをしたりすること。

③北京の調理法は炒めたり揚げたりすることが多く、油煙が多く発生すると同時に、複雑で狭い厨房では操作が困難な料理が多い。キッチンエリアはより広くなり、より換気されること。

4.3 Dの平均面積

今回の調査によると、広州の平均D面積は6.5㎡、北京の平均D面積は13.5㎡と、北京のD面積は広州の2倍近くとなっています。その理由は下記のように考えられる。

①広州は屋台文化が豊かで、友たちの招待は屋台や小さなレストランが多く、食堂は主に家族内で利用される。北京では家族の人が多く、自宅で来客をもてなすことに慣れているため、来客をもてなすにはより大きな食堂が必要です。

②広州の住宅の食堂は、リビングルームと玄関に密接に接続されています。目的は屋内面積を節約し、屋内体験を増やす。北京の住宅には、食堂とリビングルームを区切る通路があり、2つの異なるエリアを形成する。

5. まとめ

広州のD&Kモデルは、独身者や2~3人の核家族に適しており、補助的に自炊し、残りの食事のほとんどは道端の屋台、レストラン、テイクアウトで賄っている。北京のD&Kモデルは依然として伝統的なもので、大家族が1つの家に住み、毎日の食事は主に自炊である。

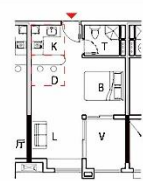








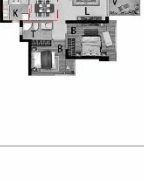


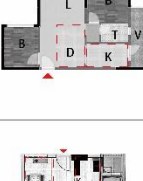
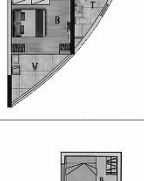
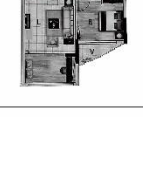
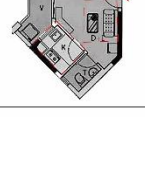





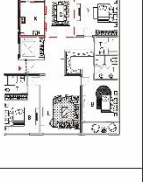



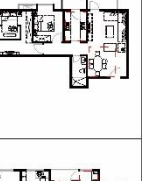
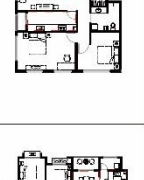

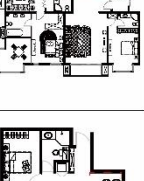
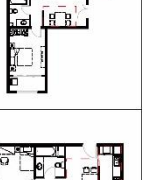
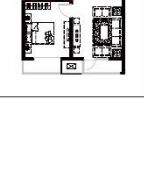
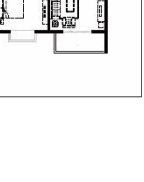
近年、中国では少子化が進んでおり、今後は単身者や2人だけの家族が主流になっていくと思いますが、同時に中国のテイクアウト・総菜産業の発展により、伝統的な厨房は本当

に徐々に簡易化と考えられる。広州モデルのD&Kは徐々に中国の集合住宅の主流になる可能性があり、キッチンスペースは簡単調理や総菜加熱を行う場所になることが考えられる。そこで、キッチンや食堂の機能が徐々に変わりつつある現状に適応した、集合住宅の新たな平面構成を探していきたいと考えている。

参考文献

- 1) 山下清海, 東南アジア華人の食文化に関する地理学的考察—シンガポール、マレーシアを中心に—、国際地域学創刊号 1993年3月
- 2) 友清 貴和, 庁型住宅の発展過程と庁の役割：中国の都市住宅に関する研究、日本建築学会計画系論文集、1994年 59巻 458号 p. 53-61
- 3) 上北恭史, 中国の集合住宅における食事空間の考察、日本建築学会計画系論文集、03年 68巻 569号 p. 15-21
- 4) Bu JingYa, Residential interior design of the South and the North, CNKI, 2013, <https://chn.oversea.cnki.net/index/>, (2023-4-11)
- 5) Zhu PeiYi, Research on Kitchen Space of the Small and Medium-sized Dwelling Units in The Pearl River Delta region, CNKI, 2010, <https://chn.oversea.cnki.net/index/>, (2023-8-30)
- 6) Chen YongXian, Research on kitchen space of the small-sized residential of the Guangdong area, CNKI, 2013, <https://chn.oversea.cnki.net/index/>, (2023-8-30)

表 1. 広州と北京の集住プランのデータ

<p>① 建設年代 場所 廣州時代 傾城-1 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 33.5㎡ 250292㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 なし 3㎡, 9% 3㎡, 9%</p> 	<p>② 建設年代 場所 廣州時代 傾城-2 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 44㎡ 250292㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 なし 5㎡, 11% 5㎡, 11%</p> 	<p>③ 建設年代 場所 廣州時代 傾城-3 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 66㎡ 250292㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 5㎡, 7.5% 9㎡, 14.5%</p> 	<p>④ 建設年代 場所 万科藍山 花園 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 90㎡ 134758㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 6㎡, 6.7% 12㎡, 13.3%</p> 	<p>⑤ 建設年代 場所 深川派 竜城 深圳 ユニット 階数 面積 全体面積 97㎡ 26678㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 5.4㎡, 6% 9㎡, 9.3%</p> 	<p>⑥ 建設年代 場所 金鐘山水 城 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 95㎡ 546100㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 5.3㎡, 5.6% 6.8㎡, 8%</p> 	<p>⑦ 建設年代 場所 岭南新世 界-1 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 85㎡ 180000㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 なし 5.3㎡, 6.2% 6.8㎡, 8%</p> 	<p>⑧ 建設年代 場所 岭南新世 界-2 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 88㎡ 180000㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 なし 6.4㎡, 7.5% 5㎡, 5.7%</p> 	<p>⑨ 建設年代 場所 深川電港 -1 深圳 ユニット 階数 面積 全体面積 51㎡ 303086㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 4.4㎡, 8.6% 4㎡, 7.8%</p> 	<p>⑩ 建設年代 場所 深川電港 -1 深圳 ユニット 階数 面積 全体面積 86㎡ 303086㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 6.5㎡, 7.5% 6.5㎡, 7.5%</p> 	<p>⑪ 建設年代 場所 泊郡雅苑 -1 深圳 ユニット 階数 面積 全体面積 57㎡ 11095㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 4㎡, 7% 8㎡, 14%</p> 	<p>⑫ 建設年代 場所 奥園広場 -1 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 86㎡ 247369㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 6.5㎡, 7.5% 6.5㎡, 7.5%</p> 	<p>⑬ 建設年代 場所 奥園広場 -2 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 64㎡ 247369㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 5.9㎡, 9.2% 8.5㎡, 13.8%</p> 	<p>⑭ 建設年代 場所 奥園時代 -1 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 53㎡ 280000㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 なし 4.2㎡, 8% 3㎡, 6.8%</p> 	<p>⑮ 建設年代 場所 奥園時代 -2 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 30㎡ 280000㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 なし 3㎡, 10% 3㎡, 10%</p> 	<p>⑯ 建設年代 場所 白云竜 佛城 廣州 ユニット 階数 面積 全体面積 30㎡ 105000㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 なし 3㎡, 10% 3㎡, 10%</p> 	<p>① 建設年代 場所 城建盛茂 広場 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 160㎡ 13.6万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 7.2㎡, 4.5% 11.7㎡, 7.4%</p> 	<p>② 建設年代 場所 保利東郡 -1 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 200㎡ 7.7万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 10.5㎡, 5.3% 26㎡, 13%</p> 	<p>③ 建設年代 場所 卡布奇諾 -1 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 90㎡ 11.5万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 5.7㎡, 6.3% 3.6㎡, 4%</p> 	<p>④ 建設年代 場所 龍湖長盛 天街 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 190㎡ 6.5万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 14㎡, 7.4% 15.4㎡, 8%</p> 	<p>⑤ 建設年代 場所 華果派 -1 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 90㎡ 20.4万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 7.2㎡, 8% 6㎡, 6.7%</p> 	<p>⑥ 建設年代 場所 融創西山 壹号院 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 180㎡ 42.9万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 10㎡, 5.6% 16㎡, 8.9%</p> 	<p>⑦ 建設年代 場所 合生清江 帝景 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 74㎡ 43万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 5.3㎡, 6.2% 6.8㎡, 8%</p> 	<p>⑧ 建設年代 場所 綠城京杭 府 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 112㎡ 33階 38万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 7.7㎡, 7% 10.8㎡, 9.6%</p> 	<p>⑨ 建設年代 場所 万科五礦 如園 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 218㎡ 26万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 26㎡, 11.9% 14㎡, 6.4%</p> 	<p>⑩ 建設年代 場所 富力金禧 花園 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 75㎡ 7.7万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 6.9㎡, 9.5% 5㎡, 6.8%</p> 	<p>⑪ 建設年代 場所 龍湖唐寧 -1 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 90㎡ 17万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 9.5㎡, 10.5% 6.5㎡, 7.2%</p> 	<p>⑫ 建設年代 場所 業倫堡 -1 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 195㎡ 10.5万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 10.2㎡, 5.2% 8.1㎡, 4.2%</p> 	<p>⑬ 建設年代 場所 潤澤悦溪 -1 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 200㎡ 37万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 9.5㎡, 4.8% 12.6㎡, 6.3%</p> 	<p>⑭ 建設年代 場所 太陽星城 -1 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 95㎡ 15万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 7.2㎡, 7.6% 5㎡, 5.3%</p> 	<p>⑮ 建設年代 場所 中粮長陽 半島 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 65㎡ 33階 10万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 5.4㎡, 8.3% 4.2㎡, 6.5%</p> 	<p>⑯ 建設年代 場所 線城京杭 府 北京 ユニット 階数 面積 全体面積 65㎡ 33階 10万㎡ Kの仕 Kの面積と比例 切り Dの面積と比例 有る 5.8㎡, 8.9% 4.2㎡, 6.5%</p> 
---	---	--	---	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	--	---	---	---	--	--	--	--	--	---	---	--	---	---	--	---	---